

手順④ 接続確認テスト送信

本マニュアルは国民健康保険中央会発行の「伝送通信ソフトマニュアル」から一部のページを抜粋して掲載しております。

テスト機能を用いて、接続の確認を行います。

〔送信結果〕で到達完了と受信できれば、問題なく接続確認ができたと判断します。

なお、その後ファイル内容のチェック処理が行われ、結果を確認することができます。

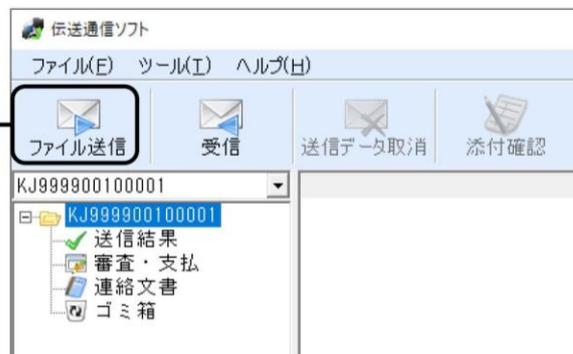
ヒント!

選択されたユーザIDが正しいことをご確認ください。
代理人の場合は「HD」で始まるユーザID、事業所の場合は「KJ」で始まるユーザIDです。

ヒント! 代理人ユーザの場合
接続の確認をする事業所
を開いて操作します。



① <ファイル送信>をクリックします



注意

テスト送信を行うファイルを選択すると、直ぐにファイルの送信処理を開始します。旧バージョン (Ver. 7以前) にあった[送信待ち]フォルダは廃止され、送信待ちのデータを準備する手順は省略されていますので、ご注意ください。

② [ファイルの種類]は、[**テスト機能 CSVファイル(*.csv)**]を選択します

③ テスト送信を行うファイル (請求書、給付管理票など) を選択します

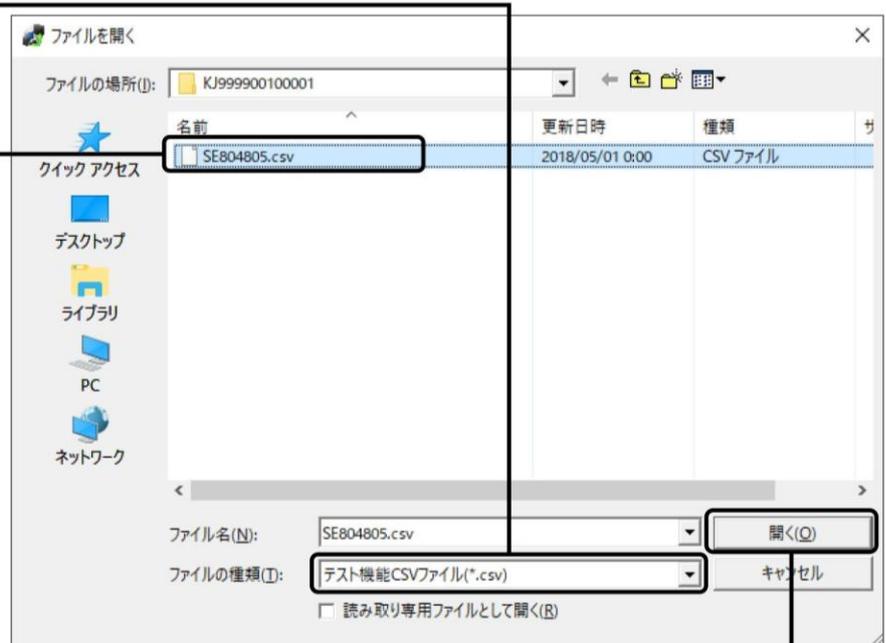
注意

テスト送信を行うファイルは、事前に請求ソフトで作成する必要があります。

ヒント!

実際の請求書、給付管理票などのファイルをいずれか1つ使用します。
代理人ユーザの場合、事業所が複数ある場合でも、テスト送信は1事業所分行えば問題ありません。

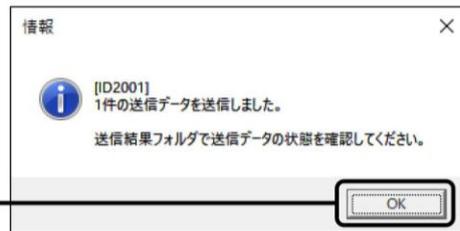
④ <開く>をクリックします



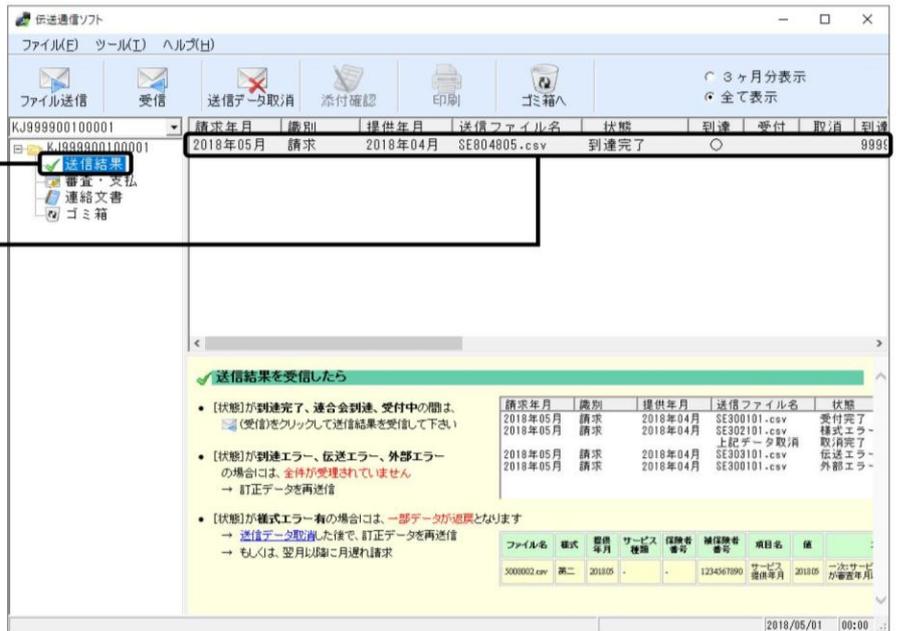
ヒント!

設定情報画面で「送受信中は確認メッセージの表示を省略する」にチェックした場合
送信が完了すると送信結果の件数を表示する確認メッセージが表示されます。

⑩ <OK>をクリックします



⑪ [送信結果] フォルダをクリックし、請求情報が正しく送付されたことを確認できます



⑫ 送信結果データの [状態] が「到達完了」となることを確認します

ヒント!

送受信中にエラーが発生した場合には、「4. 1. トラブルの解決方法を調べよう」(P. 38)を参照してください。

送信が完了した後、約30分間隔で<受信>をクリックして、[送信結果]を受信します。

※ 自動で受信を行う設定は「■ 送信結果、審査結果、連絡文書を自動で受信するには」(P. 10)を参照してください。

情報**送信結果の返信タイミング**

- [到達] … 送信と同時に、電子請求受付システムから返信されます。
- [受付] … 通常30分ほどの一定間隔で、国保連合会から返信されます。国保連合会の運用によっては異なる場合がありますので、必要に応じて請求先の国保連合会に確認しておいてください。

■ テスト機能を使用後の結果を確認する

[送信結果] フォルダで結果を確認します。

① テスト送信した到達番号の行をクリックします

※ テスト機能では、必ず [状態] は外部エラーで返ってきます

② エラーコードと内容が表示されます

